

2026年1月

CWS JAPAN NEWSLETTER NO.112

いつもCWS Japanの活動に温かいご支援、
ご理解をいただき、ありがとうございます

CWS JAPANメンバーに 2026年の抱負を 聞きました

皆さん今年の抱負は決まっていますでしょうか。CWS Japanメンバー12名に、今年の抱負として漢字一文字を選んでもらい、選んだ理由を聞きました。

みんなの抱負

「挑」

2026年は「勝負の年」だと思っています。気候変動ファイナンスへの挑戦や新たな資金メカニズム創出への挑戦など、未だ熟していない5領域に挑む決意を込めました。前例にとらわれず、成長を実現するための挑戦の年です。（事務局長／小美野剛）

「幹」

今年度は学生との二足の草鞋生活。全ての余暇活動をあきらめ、長時間座位姿勢の日々を送っていたら、危うくぎっくり腰になる寸前。この生活も残すところあとわずか。今年は、失った時間と筋肉を再び体幹トレーニングで取り戻します！身も心も全ては「コア」です！！（ディレクター／牧由希子）

「探」

ますます増加する人道ニーズに対して、これを支援する人々の関心低下が顕著になってきました。こんな時代だからこそ、支援に取り残され声を上げられない人を探し、そしてそうした人を支援してくれる人を探して繋ぐことにより一層注力します。（ディレクター／五十嵐豪）

「環」

これまでの歩みの中でいただいたご縁や学びに感謝し、それらを自分の中だけに留めず、周囲へと循環させていく一年にしたいと考えています。一つ一つの経験を大切に受け止め、次の活動や人とのつながりへと生かしながら、より良い「環」を広げていきます。（プログラムオフィサー／浜田由美子）

「芯」

「多様性」という言葉が広がる一方で、その動きに対する逆風も強まっています。多様な価値観を尊重し共感する姿勢を大切にしながら、溢れる情報や周囲の声に流されすぎず、自分自身のぶれない「芯」を持って行動する姿勢を大切にしたいと思います。（プログラムオフィサー／TOMOKO）

「根」

2025年はさまざまな節目やターニングポイントを迎え、これから何を大事にして過ごしていきたいかを見つめ直す場面が多くありました。個人的にも今年は20代最後の年になるので、どんな風を受けても傾いたり倒れたりしないよう、しっかりと根を地に張れるような一年にしたいです。（プロジェクトオフィサー／五十嵐望美）

「一」

いろいろなことの一つ一つを大事にすることを心掛けて、よかったなと振り返られる一年にしたいと思います。すこしでも多くの人が「いいことがあったな」と振り返られる一年になりますように。（アドミン・ファイナンスマネージャー／高松知文）

「澄」

瞬く間に変化し続ける日々の中で、表面だけでなく背景にある意味や繋がりまで理解する力を育てていきたいと思います。様々な価値観に触れながら、小さな気づきや一つ一つの関わりを大切に、丁寧さ、冷静さを培いながら、学びを重ねていける一年にしたいです。（アドミン・ファイナンスオフィサー／清川絵夢）

「緩」

先のことばかり考えると視野が狭くなり、今この瞬間を生きられなくなったり、まわりとの繋がりを見失ってしまうことに気づかされた一年でした。新しい一年は肩の荷を降ろし、自分の心地よさを確認しながらゆっくり散歩する気持ちで生活したいと思っています。（イノベーション・アドバイザー／打田 郁恵）

「信」

相互信頼を構築・維持する年にしたいと考えております。自分に対しては、小さなことを積み重ねていくこと。他者に対しては、信じて頼ることを大切に、2026年を過ごしていきます。（コミュニケーション担当／大屋千春）

「動」

新しいライフスタイルのペースが掴めてきた2025年を礎として、2026年は先を見据えながら駆け抜けていきたい気持ちが高まっています。そのための体力づくり、運動も習慣化したい！組織の機動力としてのコミュニケーションも日々積み重ねていければと思います。（コミュニケーション担当／高橋明日香）

「泰」

この春家庭の事情でライフスタイルが少し変わります。今まで通りにはいかなかったり、物事の見通しが立たなかったり、焦ってジタバタとしてしまいそうなのですが、そんなときこそ「泰」然自若。心を落ち着けて一つ一つ、一人一人に向き合いたいです。（コミュニケーション担当／一色あずさ）

メンバー全員の抱負、いかがでしたか。それぞれの人柄が滲み出るような抱負の数々でした。

多様なメンバーで構成されるCWS Japan。2026年も力を合わせて、「たった一人のためにでも、世界をつなげたい」という理念のもと、支援活動を続けていきます。引き続き、CWS Japanの活動にご理解とご支援のほど、お願い申し上げます。

（文：コミュニケーション担当・一色あずさ）

刺激的で豊かな 時間を過ごした コミュニティ・ カフェ@大久保

新しい年を迎え、コミュカフェの学生ボランティアからまた一人海外留学に旅立つ仲間がいます。出発直前という超多忙な時期でありながらも以下の記事を西川結菜さんが寄稿してくれました。

コミュニティカフェ@大久保との出会い

わたしが「コミュニティカフェ@大久保」を初めて知ったのは、インスタグラムの投稿でした。カラフルに彩られたイベントのチラシや、実際の楽しそうな様子を写した写真の数々に、とても魅了されました。最初は自分の研究フィールドとして訪れていましたが、次第に毎回盛り上がる会話や交流そのものを楽しみに足を運ぶようになりました。

印象的だった「レインボーカフェ」

コミュニティカフェ@大久保では、多様なバックグラウンドを持つ人々が一緒に楽しむことのできる、さまざまなイベントが行われています。中でも特に印象に残っているのが、田中利英先生をお招きして開催された「レインボーカフェ」です。このワークショップでは、近年特に活発に議論されているLGBTQIA+と、首都直下地震への不安が高まる中で注目されている防災という、二つの社会的なテーマを扱いました。

非常にセンシティブで複雑な話題でありながら、当日の場の雰囲気は終始温かく、誰もが安心して話すことのできる空間が作られていました。田中先生は冒頭で、ご自身が性的マイノリティであることを明かされ、その後もご自身の経験を交えながら、リラックスしつつも深い学びのある時間をつくって下さいました。参加者同士の自由な意見交換の時間では、それぞれがこれまでの経験や考えを素直な言葉で共有する姿がとても印象的でした。

▼レインボーカフェのレポート記事はこちら



人と町と出会う場所

そのほかにも、塗り絵や水引作りを楽しむクラフトカフェに参加したり、留学生との交流イベントを企画させていただいたり、ボランティアとして多くの貴重な経験をさせていただきました。年に二回行われる地域のお祭りに参加した際には、活気あふれる大久保の町の空気や、国際色豊かな食べ物が並ぶカフェの出店スペースに、毎回心が躍りました。



ワールドバザール@大久保まつりに出店したメンバーと ©CWS JAPAN

カフェでの活動を通して、本当にたくさんの人と出会い、今まで知らなかった世界に触れることができました。年齢や性別、職業、出身地などが異なる人たちが、ひとつの空間に集い、共に豊かな経験を築いていく—そんな時間を共有できたことは、わたしにとってかけがえのない学びです。設立からまだ二年ほどのコミュニティカフェ@大久保ですが、これからさらに輪が広がり、大久保という町の中で人と人をつなぐ場所として育っていくことを願っています。



筆者提供 ©CWS JAPAN

(文：学生ボランティア 西川結菜)

コミュニティ・カフェ@大久保運営ご支援のお願い

コミュニティ・カフェ@大久保は、皆様のご支援のもと運営を行っております。日頃のご支援に心より感謝を申し上げます。引き続き多様な人が出会い、繋がり、支えあう居場所づくりのために、温かいご支援をお願い申し上げます。

多様な人が出会い、つながり、支える居場所づくり

SAFE SPACES FOR EVERYONE

TIME TO RELAX

さまざまな世代・文化・社会的背景を持つ人との交流を楽しめる

教会が地域に開かれた第三の居場所に

- About US -

2023年から日本福音ルーテル東京教会(新宿区大久保)を拠点に、オープンした。月2回(原則第1・第3水曜日午後)にカフェを営業し、コーヒーや福祉作業所のパンを販売しながら、多文化・多世代共生をテーマにしたイベントの開催、日本語学習支援などを行っている。CWS Japanとルーテル東京教会との共同運営。

コミュニティ・カフェ@大久保

紹介ページ | note記事

最新情報はSNSでお知らせしています！ここから直接問い合わせることもできます。フォロー・いいね・購読も大歓迎です！

Facebook | Instagram | X(旧Twitter)

サポート

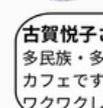
カフェの活動をぜひご支援ください！

～サポーターからの声～

コミュニティ・カフェ@大久保は、助成団体による経済的支援だけでなく、地域の住民・関係機関・学生・社会人、そして教派を超えた教会員の方々にもボランティアや献金などによって、支えられています。



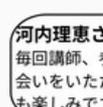
水口博幸さん (日本福音ルーテル東京教会)
様々な背景を持つ様々な国の方々、スタッフと語り合うカフェのひとつに心が和みます。やさしさの灯が広がりますように。



古賀悦子さん (日本基督教団・早稲田教会)
多民族・多文化・多世代の顔が見える関係を目指して集うカフェです。難民問題から大久保まち歩きと幅広い企画に毎回ワクワクしています。



木上伴子さん (日本基督教団・早稲田教会)
長年、日本語教師をしていました。外国人は怖いという方もいますが、一人でも外国人の知り合いがあると違うのではと思います。カフェで出会った人々が気分良く帰ってもらいたいなあと思いつつも参加しています。



河内理恵さん (日本バプテスト連盟・目白ヶ丘教会)
毎回講師、参加者ともにいろいろな方と近い距離で豊かな出会いをいただいています。お料理やクラフト、ワークショップも楽しみです。



連絡先 認定NPO法人 CWS Japan

たった一人のためにも、世界をつなげたい。

メール: public@cwsjapan.jp
電話番号: 03-6457-6840



献金振込先

※CWS Japanへの献金は、税制優遇措置の対象となります。ご献金額の最大10%を事務管理費用に活用させていただきます。

口座振込みの場合は上記メール宛に献金使途「コミュニティカフェ」とお知らせ下さい。

・ゆうちょ銀行

ゆうちょ振替: 00160-7-486854
口座名義: 特定非営利活動法人 CWS Japan (トクビ) シーダブリュエス ジャパン

・銀行口座

三菱UFJ銀行 神田支店 (店番331)
普通預金口座 0333767
口座名義: 特定非営利活動法人CWS Japan (トクビ) シーダブリュエス ジャパン

パキスタン水害 被災者支援について

こんにちは、五十嵐豪です。パキスタン水害被災者支援について、活動の進捗状況を報告いたします。

これまでの被害状況

2025年6月以降、パキスタンではモンスーン期の豪雨が全国各地を襲い、甚大な洪水被害が発生しました。全国では1,000人以上が亡くなり、580万人以上が影響を受けたと報告されています。



浸水により外壁が崩壊した家屋©CWS JAPAN

特に中部パンジャブ州のムザファルガー郡は、チェナブ川や他の河川が激しく増水したことにより洪水が多発し、同州内でも最も深刻な被害を受けた地域の一つとなりました。国連人道調整事務所（UNOCHA）によると、パンジャブ州全体では約420万人超が被災したと推計され、そのうちムザファルガー郡の影響は全体の25%以上を占めています。

洪水により、ムザファルガーを含む複数の地区で家屋やインフラが大きな損害を受けました。パンジャブ州内での迅速ニーズアセスメントでは、16万棟以上の住宅が半壊または全壊の被害を受け、280万人以上が簡易式のテントや親戚・知人宅での避難生活を余儀なくされています。

また、パキスタン政府災害管理当局である国家災害管理局（NDMA）の報告でも、2025年のモンスーンによる洪水では、全国で1,037人が死亡し1,067人が負傷、約229,763棟の住宅が損壊・破壊されるなど広範な被害が確認されています。道路や

橋梁、農地にも大きな被害が出ており、復旧には長期的な取り組みが必要とされています。



CWS JAPANと現地提携団体、現地行政機関、現地支援団体が集まって意見交換会が開かれましたが、支援の不足や中長期的な復興に向けた不安などが議論となりました©CWSA

支援の現状とCWS Japanの支援

人道支援の展開状況を見ると、国際機関やNGOの多くは避難者数やアクセスの観点から北部のカイバル・パクトウンクワ（KP）州での支援を強化しており、ムザファルガーを含むパンジャブ州南部では比較的支援が届きにくい状況が生じています。現地行政も対応を進めていますが、支援ギャップは依然として大きく、特に生活必需品を失った世帯の早期回復を後押しする支援が求められています。

こうした中、CWS Japanはムザファルガーを含む被災地域で影響を受けた世帯の生活再建を支えるため、浸水によって使用不能となった食器・調理器具、マットレスなどの生活必需品を460世帯に配付する準備を進めています。これらの物資は、避難解除後の家庭生活の立て直しを支えることを目的としています。



被災したコミュニティの人びとから状況を聞き取り、今後の支援方針について説明するCWS JAPAN職員（写真中央）の五十嵐豪©CWSA



配付予定の調理用具やマットレスの品質確認を行う五十嵐豪©CWSA

さらに中長期的な支援として、住居を失った世帯へのシェルター支援（仮設住居や住宅修復支援）の計画も検討しています。これは、単なる一次支援に留まらず、被災者の自立的な生活再建を促す段階的な支援につながるものです。

被災された方々が一日も早く安心して暮らせる環境を取り戻せるよう、引き続き人道的支援が求められています。

ご支援や寄付は現地の救援活動と中長期的な復興支援に直接つながります。皆さまからの温かいご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

引き続き皆さまからの温かいご支援をお願いいたします。

今回のみ寄付をする / 継続的な寄付をする

※CWS Japanに対する寄付は税控除の対象になります

(文：ディレクター・五十嵐豪)

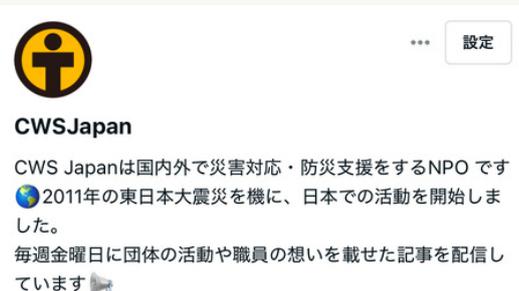
さまざまなSNSで 情報をお届けしています

CWS Japanでは各種SNSで、日ごろから情報をお届けしています。お好きな方法で最新情報をぜひチェックしてみてください



各種SNSは
[ここをクリック](#)or
QRコード読み込み

認定NPO法人CWS Japan @Japan_CWS · 1月30日
 <「エジプト家庭料理教室」と「ちぎり絵・貼り絵アート」を開催>
 皆さん、こんにちは、五十嵐望美です。新年を迎えて、まもなく1ヶ月が経ちますが、いかがお過ごしでしょうか？今月もコミュニティ・カフェ@大久保(@commucafes2023)のレポート記事をお届けします👉



「エジプト家庭料理教室」と「ちぎり絵・貼り絵アート」を開催 1月のコミュニティ・カフェ@大久保

皆さん、こんにちは！CWS Japanの五十嵐望美です。今月もコミュニティ・カフェ@大久保のレポート記事をお届けします。

エジプトの食文化を知る 家庭料理教室

新年最初に開いた1月7日(水)のカフェでは、エジプト出身のディーナさんをゲスト講師に迎えて、エジプトの家庭料理を教わる料理教室を行いました。

2026/1/7 エジプト家庭料理教室



当日は、エジプトで定番のライスに、酢漬のナス、トマトスープの3品を調理しました。

ディーナさんは、毎年コミュニティ・カフェが出店している地域のお祭りイベントの「ワールド・バザール」で、エジプトブースを一家で担当してくださっています！



ワールド・バザールでエジプト料理を販売するディーナさん一家©CWS JAPAN

今回は、前回の料理教室に参加して下さったリピーターの方から、「エジプト料理に興味があって初めて参加しました」という方まで、さまざまな方にご参加いただきました。

キッチンのテーブルには、日本ではあまり見かけないスパイスや調味料、食材がずらりと並び、調理中には「これが足りない！」と何度か買い出しに行く場面も。



見慣れないスパイスや材料が並んでいます ©CWS JAPAN

そんな中でも、ディーナさんが手際よく調理する姿を、参加者のみなさんが興味深そうに見たり、質問をしたりしながら、和やかに進んでいきました。

今回はご飯を炊いたり、スープを煮込んだりと待ち時間のある料理だったため、その間は皆さんとおしゃべりを楽しみながら交流する時間にもなりました。

そして最後には、テーブルいっぱいにならぶエジプト料理が完成し、みんなでおいしく味わうことができました。



ご飯を炊いたり、スープをぐつぐつ煮込んだりと調理をしていきました©CWS JAPAN



完成した料理をみなさんでお腹いっぱい食べることができました！©CWS JAPAN

貼り絵で広がる多世代交流の場

1月21日(水)に開催したカフェでは、ちぎり絵・貼り絵を使ったクラフトを行いました。

少人数ではありましたが、近隣の高齢者事業所から利用者さんが参加して下さり、おしゃべりをしながら一緒に手作業をして、ゆったりとした時間を過ごすことができました。

多くのお店が集い、連日たくさんの人で賑わう多国籍タウン大久保ですが、一步路地に入れば、高齢者のための福祉事業所や入所施設もあり、単身高齢者も多く居住しています。

2026/1/21 新春ちぎり絵・貼り絵アート



色紙を使ってちぎりながら貼って楽しむ貼り絵をしました！©CWS JAPAN

今回お越しくくださった利用者さんは普段入所施設で暮らしているということですが、一人で過ごすことも少なくなく、孤独を感じることも多いということで、このように多世代で交流できるのが楽しいと喜んでいただけました。

そうしたお話から、わたしたちのコミュニティカフェがこの地域でもそうした多様な人の交流の場としてニーズがあることを感じさせられました。もう少し人員が確保できれば、開店の頻度をあげられるのですが・・・それが課題です。

2月のカフェ企画のお知らせ

2月のカフェは、第1水曜日と第3週は土曜日に営業します。（第3水曜日はお休みです）



日時：毎月第1・3水曜日 13:00-17:00
 場所：日本福音ルーテル東京教会
 東京都新宿区大久保1-14-14（JR新大久保駅から徒歩5分）

2月の予定
 第3水曜日（2/18）はお休みです！

営業日	イベント企画
2月4日（水） 13:30-16:00	遊んで学ぶ！日本のマナー （事前申込不要、参加費無料）
2月21日（土） 14:00-15:30	災害×外国人支援：七尾市国際交流協会ケーススタディ （事前申込不要、参加費無料）

※イベントの内容・日程は事前のアナウンスなく変更する可能性がありますのでご了承ください。

最新情報はSNSでお知らせしています！
 Facebook / Instagram / X(旧Twitter)

2月第1週のカフェでは、コミュニティ・カフェの協働パートナーである友国際文化学院で日本語を学ぶ留学生の皆さんとの交流企画として、『遊んで学ぶ！日本のマナー』を開催します。ボードゲームを通して、一緒に日本のマナーについて学びましょう！

2月の第3週は週末カフェとして、前回の中能登町に続いて、七尾市からゲストをお招きし、『災害×外国人支援：七尾市国際交流協会ケーススタディ』を開催します。外国人住民との共生・共助によるまちづくりが課題の中、災害が発生した時に外国人支援の対応にあたったお話を伺います！

2月以降もコミュニティ・カフェ@大久保にぜひお立ち寄りください。

コミュニティ・カフェ@大久保の各種SNSはこちら。
[Facebook](#) / [Instagram](#) / [X\(旧Twitter\)](#)



参加無料 事前申込不要
 日本文化体験・交流企画
遊んで学ぶ！日本のマナー

2026 02.04 水 13:30~16:00
 日本福音ルーテル東京教会
 東京都新宿区大久保1-14-14（JR新大久保駅から徒歩5分）

ボードゲームを通して、日本の生活やマナーについて楽しく学びながら交流しましょう。お気軽にご参加ください！

主催：コミュニティ・カフェ@大久保 公益財団法人 ウェスレー財団 Wesley Zaidan
 問い合わせ：CWS Japan 牧 (03-6457-6840, public@cwsjapan.jp)

災害×外国人支援 七尾市国際交流協会ケーススタディ



2024年元旦に発生した能登半島地震から2年。大規模災害に見舞われる被災地では、少子高齢化・過疎化が進む地域も多く見られる中、その一方で増加する外国人住民との共生・共助による地域づくりが課題です。昨年開催した中能登町に続き、発災当時、外国人住民支援にあたったゲストを囲み、七尾市の経験について学び合います。

2026.2.21(土) 14:00-15:30

@日本福音ルーテル東京教会
 東京都新宿区大久保1-14-14（JR新大久保駅から徒歩5分）

事前申込不要・参加費無料・途中入退室可

ゲストスピーカー おおほし みちよ
大星 三千代さん
 七尾市在住、行政書士
 石川県における地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業
 地域日本語教育コーディネーター
 七尾市国際交流協会理事長
 日本語講師（1983年～現在）



公益財団法人 ウェスレー財団 Wesley Zaidan
 コミュニティ・カフェ@大久保
 文部科学省

主催：コミュニティ・カフェ@大久保
 問い合わせ：CWS Japan 牧 (03-6457-6840, public@cwsjapan.jp)

（文：プロジェクト・オフィサー
 五十嵐望美）

スリランカ サイクロン被害 緊急支援

2025年11月末から12月初頭にかけて、スリランカを襲ったサイクロン「ディトワ」により、広い地域で洪水や土砂災害が発生しました。現地政府および国際機関の調査報告によれば、人口の約一割が被災し、数十万世帯が避難や住宅損壊に直面しています。中央高地を中心に運輸・物流・農業への影響も深刻で、生活必需品や水・衛生、医療・保護分野における支援ニーズが高まっています。

CWS Japanの緊急支援について

CWS Japanは、被災状況と現地からの要請を踏まえ、現地提携団体と連携しながら被害が大きかったコロomboおよびキャンディの両地域で、緊急支援を開始しました。現在、被災世帯を対象に以下の支援を実施しています。

- ・食料、衛生用品、生活必需品の配付
- ・避難所や学校を拠点とした健康診断および医療相談
- ・心理カウンセリングやリファールなどの心理社会的支援

今後は住宅修繕や気候災害に強いコミュニティ形成など、中長期的な復興支援についても検討してまいります。



ご支援のお願い

被災地では、食料や生活必需品、保健・心理社会的支援など、緊急性の高いニーズが続いています。CWS Japanでは、本事業を継続するための寄付を受け付けています。皆さまからのご支援は、被災者の生活再建と地域の復興に役立てさせていただきます。温かいご協力をお願いいたします。

※CWS Japanへのご寄付は、寄付控除の対象となります。

皆さまからの温かいご支援を
お願いいたします

継続的な寄付

今回のみ寄付



特定非営利活動法人CWS Japan
〒169-0051
東京都新宿区西早稲田2-3-18
日本キリスト教会館25号室

メールアドレス：
public@cwsjapan.jp
電話：
03-6457-6840



[CWSJapan](#)



[@Japan_CWS](#)



[cws_japan](#)